

中国情報（畜産）

2007年11月13日号

©2007年10月における中国の畜産物及び飼料価格情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年10月における中国の畜産物及び飼料価格情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

農業部畜牧業司が実施した全国450カ所の定点調査統計によると、10月の豚産品価格は引き続き下落、家禽産品価格はいずれも下落、トウモロコシ価格はやや下落となった一方、牛肉及び羊肉（注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称。以下同じ）価格並びに原料乳価格は引き続き上昇した。10月の豚／穀物比（豚の販売価格に対する飼料費用の比率を表したもの。豚の販売価格÷穀物の価格で産出）は7.96で、前月比0.18ポイント上昇し、損益分岐点である5.5を14カ月連続で上回った。

1 豚産品価格は引き続き下落

2007年10月の全国の子豚、豚及び豚肉の平均価格は、それぞれ1kg当たり22.62元、13.21元及び21.15元で、前月比でそれぞれ4.6%安、2.9%安及び3.9%安となった。豚産品価格は2カ月連続で下落したが、豚及び豚肉価格の下落幅は前月に比べやや小さく、それぞれ1.8ポイント及び0.2ポイントの減少となった。

各省別には、全国の80%の省で子豚及び豚の価格が下落した。豚肉については、四川省を除く全国の省で価格の下落が見られた。価格変化の状況については、今月も引き続き「東低西高」の傾向が見られた。東北、華北、華東及び華南地区の豚産品価格は下落幅が比較的大きく、そのうち吉林省、黒龍江省、天津市及び河北省では、子豚価格の下落幅が10%を超え、広西チワン族自治区、海南省、福建省、浙江省及び上海市では、豚価格の下落幅が8%以上となった。東北地区では、吉林省及び黒龍江省の豚肉価格の下落幅が9%を超え、最大となった。

一方、西南地区の四川省、雲南省及び西北地区の甘肅省、青海省の豚産品価格は引き続き

き安定しながらも上昇する動きを見せたものの、その区域は前月よりやや縮小し、雲南省、重慶市及び陝西省などの一部では価格が下落したため、四川省が唯一、豚産品価格がすべての区域で上昇した省となった。

価格水準については、子豚価格は遼寧省が1kg当たり32.00元と、2カ月連続で全国最高となった一方、江蘇省では14.79元と最低となった。豚価格では青海省が15.77円で全国最高となり、南方の各主産省がこれに次いだ。豚肉価格は上海市が24円で引き続き全国最高を維持し、最低は黒龍江省の19.74元となった。

前年同月比では、子豚、豚及び豚肉価格は、それぞれ129.9%高、66.4%高及び62.8%高となった。1～10月の子豚、豚及び豚肉平均価格は、それぞれ1kg当たり17.32元、11.25元及び17.93元で、前年同期比106.1%高、63.4%高及び52.5%高となった。

最近、中央政府が補助政策や価格高騰を抑制・低下させるための対策などを講じたことから、豚の生産が全面的に回復基調となり、市場供給もやや増加し、価格が大幅に反発する可能性は大きくはない。ただし、豚の主産地である四川省、重慶市、広東省、湖南省、湖北省及び江西省における生体豚価格が、2カ月連続で全国でも比較的高水準を維持していること、全国で豚の供給が全体的には依然として逼迫状況にあること、豚価格を高騰させる可能性のある要因が存在することなどに注意を払う必要がある。

2 家禽産品価格は全体に下落

2007年10月の全国の鶏卵平均価格は、前月比2.0%安の1kg当たり8.14元となった。価格変化については、西南地区の雲南省、貴州省、四川省、重慶市及び南部の海南省を除き、全国の大部分の地区で鶏卵価格の下落が見られ、うち華東の山東省、江蘇省、上海市及び華北の河北省、北京市、山東省では、下落幅が4%超と比較的大きかった。価格水準では、主産地である山東省、遼寧省、河北省、黒龍江省、河南省、吉林省及び江蘇省の鶏卵価格が、7元以下と比較的低水準となった。そのうち、山東省では6.38円で全国最低となった。一方、西南及び南方各省の価格は9元以上と比較的高水準で、貴州省は11.56円で残酷最高となった。

鶏及び丸どり価格は、それぞれ1kg当たり13.73元及び13.60元で、前月比4.3%安及び2.9%安となり、2カ月連続の下落となった。レイヤーヒナ及びブロイラーヒナ価格は、それぞれ1羽当たり3.11元及び3.35元で、前月比4.0%安及び10.9%安となった。

前年同月比では、鶏卵、鶏及び丸どり価格は、それぞれ16.5%高、22.2%高及び21.9%高となった。同じく、レイヤーヒナ及びブロイラーヒナ価格は、それぞれ38.8%高及び46.9%高となった。1～10月の鶏卵、鶏及び丸どりの平均価格は、それぞれ1kg当たり7.72元、13.08元及び12.84元で、前年同期比27.3%高、31.1%高及び28.0%高となった。2006年5月以降、鶏卵価格は全体的に上昇基調を呈し、2007年8月以降は、一貫して1kg当たり8元以上の高水準を維持している。市場動向が良好で生産が増加していることから、当面の家禽産品市場における供給量は十分であるが、豚産品価格下落の影響を受け、家禽産

品価格は、短期的には安定しつつも下落の可能性があるとして予測されている。

3 牛・羊肉価格は引き続き大幅上昇

2007年10月の牛肉及び羊肉平均価格は、それぞれ1kg当たり24.36元及び25.73元で、前月比2.8%高及び3.6%高となった。牛肉主産地である河北省、遼寧省、吉林省、山東省及び河南省における平均価格は、前月比4.6%高の23.93元となった。牛肉主要消費地である上海市、浙江省、福建省、広東省及び海南省では、同0.7%高の27.96元となった。また、羊肉主産地である河北省、内蒙古自治区、山東省、河南省、新疆ウイグル自治区における平均価格は、同3.2%高の24.73元となった。羊肉主要消費地である上海市、浙江省、福建省、広東省及び海南省では、同2.5%高の29.45元となった。

前年同月比では、牛肉及び羊肉価格は、それぞれ31.1%高及び38.2%高となった。1～10月の牛肉及び羊肉平均価格は、それぞれ21.49元及び22.68元で、前年同期比16.6%高及び23.0%高となった。冬から春の牛・羊肉消費季が近づくと連れ、牛・羊肉消費量が増加し、豚製品及び家禽製品その他畜産物が引き続き高水準で推移していることから、牛・羊肉価格は、短期的には上昇基調を呈するものと予測されている。

4 トウモロコシ価格はやや下落

2007年10月のトウモロコシ価格は、前月比0.6%安の1kg当たり1.66元となり、前年10月以降初めての下落となった。主産地である遼寧省、吉林省及び黒龍江省のトウモロコシ価格は、それぞれ1kg当たり1.51元、1.45元及び1.39元となった。前月に比べ、遼寧省は同水準であったが、吉林省及び黒龍江省はそれぞれ0.7%安及び2.1%安となり、黒龍江省のトウモロコシ価格は全国最低となった。主要消費地である広東省のトウモロコシ価格は比較的高水準で、1.9元を超えた。

輸入魚粉価格は、前月比0.7%高の1kg当たり8.16元となった。大豆粕価格は同5.7%高の3.33元で、2カ月連続の大幅な上昇となった。肥育豚配合飼料価格は前月比0.4%安の1kg当たり2.23元、ブロイラー及びレイヤー配合飼料は、それぞれ同0.8%高の2.44元及び0.5%高の2.19元となった。

前年同月比では、トウモロコシ、大豆粕及び輸入魚粉価格は、それぞれ20.3%高、32.1%高及び6.7%高となった。肥育豚、ブロイラー及びレイヤー配合飼料価格は、それぞれ18.0%高、16.2%高及び14.7%高となった。1～10月のトウモロコシ平均価格は、前年同期比18.1%高の1kg当たり1.59元となった。新収穫のトウモロコシが次々と市場に出回るのに従い、トウモロコシ価格は、短期的には安定しつつも下落基調を呈すると予測されている。

5 主産地の原料乳価格は上昇

主産地である北京市、天津市、河北省、内蒙古自治区、山西省及び黒龍江省の原料乳平

均価格は1kg当たり2.16円で、前月比6.9%高、前年同月比14.3%高となった。上記6か省区市の原料乳価格はいずれも上昇を示しており、うち北京市は2.23円で前月比は12.1%高と、上昇幅が最高を示した。天津市及び河北の価格も比較的高水準で、それぞれ前月比9.9%高の2.44元、3.1%高の2.35元となった。また、内蒙古自治区、山西省及び黒龍江省の価格は、それぞれ同6.3%高の2.19元、同3.4%高の1.83元及び同6.6%高の1.93元となった。